

NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

(愛称:選択の達人)

分配金のお知らせ

2019年3月19日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド(愛称:選択の達人)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2019年3月18日に決算を迎え、「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」につきましては、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前。以下同じ。)をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

≪各コースの分配金(1万口当たり、税引前)≫

	為替へッジあり	為替ヘッジなし
当期決算 分配金	45円	150円
基準価額 2019年3月18日現在	9,696円	9,695円

分配方針

『NWQグローバル厳選証券ファンド(愛称:選択の達人)』の収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②原則として、配当等収益等を中心に分配を行うことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行な わないことがあります。
- ※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212 (営業日の9:00~17:00) HP https://www.daiwa-am.co.jp/



≪ファンドマネージャーのコメント≫

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

<設定来の市場環境>

(世界の米ドル建資産)

エクイティ系資産(株式)は下落も、インカム系資産(投資適格社債、ハイイールド債券)中心に堅調な展開

株式市場は、米中貿易摩擦への懸念や米国の一部ハイテク企業が需要見通しを引き下げたことなどから、下落して始まりました。さらに2018年12月以降に中国や欧州で発表された経済指標が市場予想を下回ったことから世界景気への懸念が強まり、米国の一部政府機関が閉鎖されたことなどを嫌気して下げ幅を拡大しました。しかし、2019年1月以降は、10-12月期の米企業の決算発表が総じて良好な結果だったことや、米政府機関の一部閉鎖が解除されたこと、FRB(米国連邦準備制度理事会)が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことなどを好感して反発しました。

債券市場では、金利はおおむね低下しました(債券価格は上昇)。米国の堅調な経済指標や継続的な利上げ見通しが高まったこと、欧州におけるインフレ懸念の高まりなどから金利は上昇基調となりました。しかし2018年12月以降は、世界景気への懸念の高まりや、米国のFRB高官から相次いで金融政策に慎重な姿勢が示されたことなどから、金利は低下基調となりました。

このような市場環境下において、当ファンドが投資対象としている、株式は総じて軟調に推移し、一方で投資適格社債やハイイールド債券、優先証券は堅調に推移しました。

(為替)

為替市場において、米ドル円はおおむね横ばいとなりました。米国を中心とした世界経済に対する懸念の高まりを受けて、株式市場が下落するなどリスク回避的な動きが強まったことや、米国の一部政府機関が閉鎖に追い込まれたことから、米ドルが売られる局面もありました。しかし、2019年1月以降は、米国長期金利が安定的に推移し、株価が堅調に推移するなど、リスク選好気運の高まりを背景に、米ドルが買われる(円が売られる)展開となりました。





※当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「先進国株式」はMSCI World Indexを使用。

※記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

※上記のコメントは、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。





≪ファンドマネージャーのコメント≫

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

<設定来の運用状況>

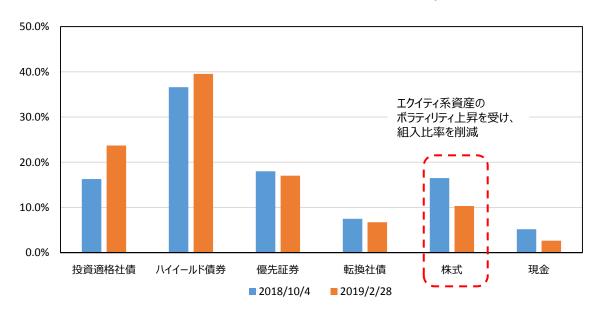
インカム系資産(投資適格社債、ハイイールド債券)中心のポートフォリオを維持

当ファンドのアセット・アロケーションは、個別企業ごとに資本構成の中で最も投資妙味が高いと考える資産クラスを組み入れました。多くの米国企業で好決算がみられていることなどから投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しています。

米国経済は好調で、投資適格級の企業同様、非投資適格級の発行体もその恩恵を受けています。企業ファンダメンタルズの 改善等を受け、非投資適格企業のデフォルト率は過去平均対比で非常に低位な水準で安定的に推移しています。このトレン ドは今後も継続するとみている中、当戦略においては高クーポンが享受できるハイイールド債券の組入比率を引き続き高位に維 持しています。足元ではクレジット市場(ハイイールド債券、投資適格社債)は投資妙味が高まっていると考えており、下落局面 で配分を増加させました。

株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、組入比率を引き下げるなど慎重なスタンスとしました。

《資産配分比較》 (2018年10月4日と2019年2月28日)



※上記のコメントは、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

大和投資信託

≪ファンドマネージャーのコメント≫

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

<今後の見通し>

2018年10-12月期には米国経済に対する減速懸念が高まったことで、リスク性資産は大きく下落する展開となったものの、2019年に入り、経済指標等が強い結果を示していることやFRBが八ト派な金融政策に転換したことなどを受け、市場は回復基調を示しています。米中貿易摩擦問題、トランプ政権の先行き不透明感等の注視するべきリスクはあるものの、米国では労働市場および企業決算等が引き続き良好であることなどを背景に、NWQ社では2019年も底堅い経済成長を続けるとみています。

く今後の運用方針>

当ファンドのアセット・アロケーションは、個別企業ごとに資本構成の中で最も投資妙味が高いと考える資産クラスを組み入れる方針です。ポートフォリオの組入銘柄のバリュエーションは魅力的であり、資産クラスおよび各資産クラスのセクターの配分に問題はないと考えます。したがって、足元のポートフォリオに大きな変更はございません。

足元、早期の景気後退をもたらすようなカタリストはみられていない一方、2018年の経済成長をけん引してきた税制改革による景気刺激効果は2019年にかけて徐々に減退することや景気サイクルが後半期へと移行していてことなどを背景に、当戦略では、株式と比較して投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみており、また弁済順位の高い資産に投資妙味があると考えています。

株式については、安定した経済成長と企業業績の拡大を背景として底堅い展開になると見込んでいます。しかしながら、景気サイクルが後半期に突入する中で一時的に大きく下落する局面も想定されることから、組入比率は10-15%程度の配分にとどめる方針です。このような市場環境下、引き続きボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力しています。

ポートフォリオ全体としては引き続き投資銘柄および企業の選定が重要であると考えており、徹底したリサーチを通じて投資妙味のある企業および証券を選定していくことで、魅力的なリスク調整後リターンの創出が可能であると考えています。

※上記のコメントは、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

基準価額の推移

「為替ヘッジあり」



「為替ヘッジなし」



- ※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
- ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。





NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) (愛称:選択の達人)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

●世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- 1. 世界の米ドル建資産(株式、債券、優先証券など)に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク·リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。
- 2. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

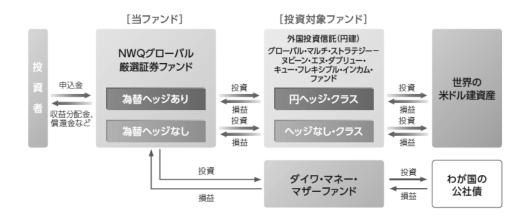
◆為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。 ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入 資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡 大することもあります。

為替ヘッジなし

◆為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。 外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり):為替ヘッジあり NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジなし):為替ヘッジなし ◆ 各ファンドの総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

大和投資信託
Daiwa Asset Management



NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) (愛称:選択の達人)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

- ※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
- ※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないますが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
- ※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。
- ※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用						
	料率等	費用の内容				
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、 取引執行等の対価です。				
信託財産留保額	ありません。	_				
投資者が信託財産で間接的に負担する費用						
	料率等	費用の内容				
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.107% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。				
投資対象とする 投資信託証券	年率 O.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。				
実質的に負担する 運 用 管 理 費 用	年率 1.657% (税込)程度					
その他の費用・ 手 数 料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。				

- (注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

說·運用: 大和投資信託

_

商号等 大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。



Daiwa Asset Management

2019年2月28日 現在

NWQグローバル厳選証券ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)(愛称:選択の達人) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)		登録番号	加入協会			
			日本証券業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	0	0	0	0
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	0			